

報 告

1998年度第89回研修会 事例・研究報告会

毎年、その年度の最終研修会は総会当日に、会員からの自発的な研究報告と事例報告を期待しての事例・研究報告会を行っている。毎日の業務の中での工夫や、リクエストや必要のために行った調査・研究の成果を発表してもらうことが目的である。また発表の技術を身につける良いチャンスでもある。

毎年、報告会の3ヵ月前には全会員に演題募集を行うが、良い事例を経験しながらも自らの演題提出には遠慮もあってか、なかなか出てこないのが残念である。せっかくの成果をこの機会に発表してもらい、われわれの業務や学ぶ糧とさせてもらうことが、この事例・研究報告会の目的である

今年度の事例・研究報告会には次の4題が報告された。

1. 3年目を迎えるにあたって -これまでの業務、これからの展望-

南大阪病院 岸田郁葉

2. 入院患者図書サービス実現に至るまでの過程

社会保険広島市民病院 香川由美子

3. 人事移動にともなう病院図書室の業務引継

-問題点と今後の課題、何をどのように引き継ぐか-

西淀病院 前田元也

4. ファイルメーカーPro による文献相互貸借システム“Lettura”の作成

-近畿病院図書室協議会「医学雑誌総合目録1997年改訂版」のデータベース化-

三菱京都病院 須井麻由美

今回の発表者のなかで、前田氏を除いた3氏は初めての発表者である。岸田氏は病院図書室に入職されて3年目、幸い経験豊かな先輩、仙波氏の指導のもとに知識を習得され、今回も「何ごとも経験だから」と仙波氏の勸

めもあってこれまでの経験と今後の展望をまとめられた。問題点として多くの大学や病院からの交換医学雑誌の利用を広めたいとの提言があった。今後このテーマに取り組み、ぜひその成果を次回に発表してもらいたい。

香川氏が将来の広島市民病院での患者図書サービスを考えて、その可能性を探りながらの企画書を私に送られ、それについての意見をもとめられたのは約1年以上も前であった。病院図書室の司書の立場から、考えられるあらゆる方法を例にあげての企画書には、香川氏の「是非実現したい」という熱心な気持ちが込められていた。今後患者図書サービスを開始される病院にとっては大いに参考になると思い、今回発表をお願いした。広島市立病院では香川氏のこの企画が実り、すでにサービスが開始されており、発表を聞いた会員からは香川氏の熱心さとその行動力に感嘆の声があがった。

西淀病院の図書室や近病図協の活動のなかで、特に会誌の発行という大きな役割を果たして来られた前田氏が人事異動で図書室を離れられることは非常に残念である。一人担当の多い病院図書室はその担当者によって図書室の活動やサービスが大きく左右されることになる。担当者が交替しても図書室の活動やサービスが持続されるには前任者と後任者との業務引継が非常に重要ではなからうか。そのことを充分すぎるほどに理解されている前田氏の後任者への引継に期待してその報告を依頼した。職場の異動という時期に非常に申し訳なかったが、担当者の異動が多い病院図書室にとってはぜひ発表して欲しいとお願いした。前田氏には幸いには快く引き受けていただき、今回の異動に際して作成されたという「病院図書室引継ぎマニュアル」を披露された。勤務時間後の文献検索等の勉強会は後任者の希望もあったときき、前田氏に匹敵し

た後任者の熱心さにも感心した。余談であるが回覧された「病院図書室引継ぎマニュアル」3冊が研修会の終了後1冊もどらなかったということからも、どんなにわれわれにとって魅力ある内容であったかがお分かりいただだけよう。このマニュアルは「病院図書室マニュアル」としても充分役立つもので、これを参考にあらためて自分達の図書室業務を見直してみたい内容であった。


須井氏の「ファイルメーカーPro による文献相互貸借システム“Lettura”の作成」は自ら選ばれた研究課題である。コンピュータに熟練された須井氏は昨年完成された近病図協の「医学雑誌総合目録1997年改訂版」のデータベース化を小田中氏らの協力のもとに試み

られ、会員の文献相互貸借システムを作成された。今回の報告会でその説明をされ、現在会員有志がモニターとして試行されている。今後会員の相互貸借業務に活用されることと思う。この“Lettura”は6月26-27日に開催される第16回医学情報サービス研究大会（鶴見市）においても紹介される。

今回の事例・研究報告会の出席者は36名、以上3題の発表は好評に終了し、うち3題は会誌「病院図書室」（本誌）に掲載されている。（p. 43～p. 61）

当日参加できなかった方々はぜひ一読されたい。

（文責：研修部 山室眞知子）



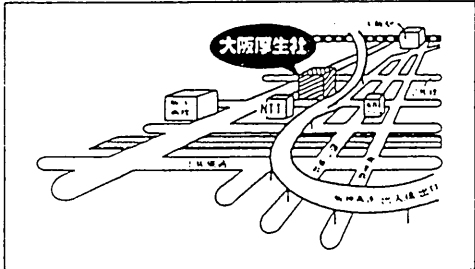
Since 1946

■鮮度のいい情報を大量にストック

メデイカル情報発信基地!

月刊医学情報 医学関連記事を全国21紙より抜粋(年間購読料22,000円)

- TOKYO ☎(03)3294-0021
- YOKOHAMA ☎(045)243-0181
- KANAZAWA ☎(0762)784-0791
- SHIGA-IDAII ☎(0775)48-2091
- TOYOAKI ☎(0562)93-1824
- KYOTO ☎(075)761-2181
- MORIGUCHI ☎(06)6992-1051
- TAKATSUKI ☎(0726)83-1161
- KINDAI ☎(0723)66-0221
- WAKAYAMA ☎(0734)33-4751



株式会社 厚生社 本社 〒530-0003 大阪市北区堂島3-2-7 ☎(06)6451-3711 Fax.(06)6452-5080